

■サザエさん一家から学ぶ労働・社会保険・年金の基礎知識

日時：12月12日 13:10~14:40

科目：「進路と職業」全学部・全学年対象

講師：奥原昇社労士、南公平社労士、藤本量哉社労士、西林利枝子社労士

参加者：約340名

その他：クリッカーを使用。設問（5肢択一）に対する回答を学生から瞬時に得て、学生の年金等に対する認識や就業に関する意識を調査。

■新入社員が直面する労働トラブルとその対処法

日時：12月19日 13:10~14:40

科目：「進路と職業」全学部・全学年対象

講師：越内潤社労士、寺西豊社労士

参加者：約370名

その他：前回同様クリッカーを使用し、グループで判例の考え方等を検討。連合会テキスト「知っておきたい働くときの基礎知識」を使用。

社会に出る前に知識を

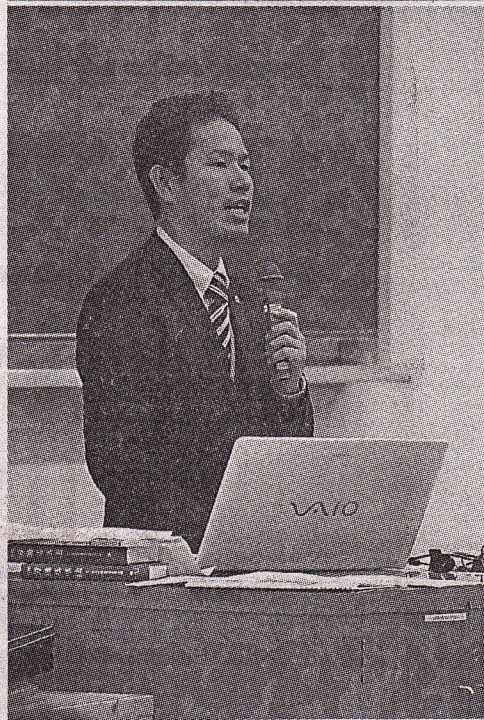
新入社員等の労働トラブル

和歌山 和歌山大学で出前授業

県社労士会

和歌山

学生に社会に出る前に、労働問題に関する基本的な知識を身に付けてもらおうと、県社会保険労務士会（牧宮幸一郎会長）は19日、和歌山市栄谷の和歌山大学で出前授業を行い、学生約370人が「新入社員等が直面する労働トラブル事例と解決方法」



労働トラブルの対処について話す越内さん

をテーマに学んだ。講師は社会保険労務士の寺西豊さんと思っ

ていてもトラブルに遭うことがあ

る」と話し、正社員になるまでの流れや解雇について説明。正社員になり、問題が起った時には一人で悩まず、上司や弁護士、労働基準監督署、地方裁判所に相談するように伝えた。また、会社と労働者のトラブルの事例を挙げ、法的にはどちらが強いかなど議論し合った。寺西さんは、労働者と職場のルールについて説明。「ルールは、現実的に法律と現場とのずれがあり、みんながそのずれを経験するかもしれない。権利や法律を知り、いざという時には、会社に適切な対応を求めることが大切」と話した。